

～ともにつくる心豊かなまちづくり～



あなたのやさしさを、届けます。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします。

地域をつくる市民を応援する共同募金へ。

www.akaihane.or.jp
<http://m.akaihane.or.jp> 10月1日・12月31日

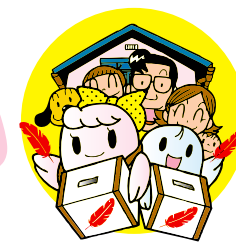
赤い羽根共同募金

地域の福祉
みんなで参加

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金」が始まります。ひとりひとりのやさしい気持ちが地域の福祉を支えています。寄附する人も募る人もボランティアです。皆さんのご協力をお願いします。

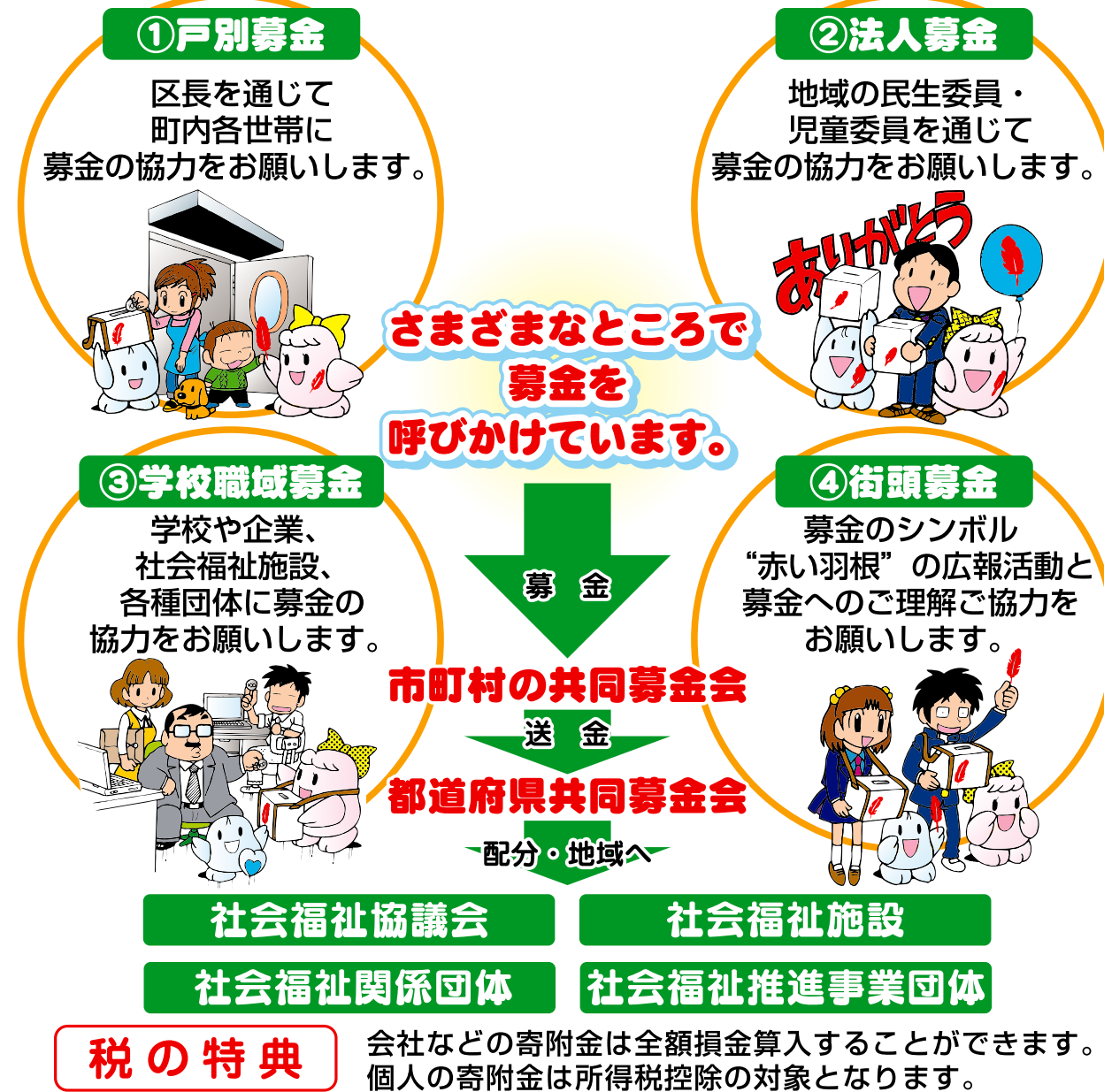
共同募金
赤い羽根募金
10月1日～12月31日

やさしい気持ちを
「赤い羽根」に託してください
平成19年度目標額



赤い羽根共同募金
4,580,000円
(18年度実績額 4,660,066円)

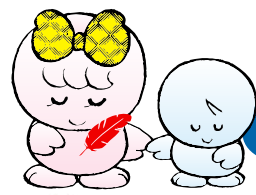
歳末たすけあい募金
3,000,000円
(18年度実績額 3,497,160円)



長泉町共同募金委員会
(長泉町社会福祉協議会内)
長泉町下土狩967-2
☎988-3920 (長泉町福祉会館)



1986年生まれの
共同募金のシンボル
キャラクター愛ちゃん
が姉で希望くんが弟です



平成19年度

赤い羽根共同募金運動がスタートします!

10月1日から12月31日まで

赤い羽根共同募金

社会福祉協議会が、高齢の方、障害のある方、児童・青少年、地域の皆さまを対象に行う生活支援事業、社会参加事業、総合福祉事業などの福祉に関する理解や協力及び社会を基盤とする事業に対して配分されます。また、福祉活動を行う団体、施設などにもその事業費や、臨時費として配分されています。

主な活動の紹介

- ① 広報誌「福祉ながいずみ」の発行
- ② 社協ホームページの運営
- ③ 福祉健康まつりの開催
- ④ ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」
- ⑤ 老人クラブ連合会スポーツ大会記念品
- ⑥ 在宅介護機器（パソコン）の購入



歳末たすけあい募金

地域のニーズがある方に実情にあった救助活動を一層充実させていきます。

主な活動の紹介

- 在宅の福祉ニーズがある方々への支援（寝たきり、低所得者世帯など）
- 社会福祉施設入所者への支援



共同募金のシンボル「赤い羽根」

「赤い羽根」を共同募金のシンボルとして使ったのはアメリカが最初です。これにヒントを得て、日本でも第2回目の運動（1948年）から「赤い羽根」をシンボルとして使うようになりました。当初は寄附したことを表すしるしでしたが、現在は「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルとして幅広く使われています。ちなみに中世のヨーロッパでは騎士道華やかかなりし頃、「赤い羽根」は勇気の象徴、善行または勲功の印でした。また、米国の先住民族の間では勇者の印でした。

海外で「赤い羽根」を使っている国は日本の他に南アフリカがあり、その他22カ国は、レインボーマークを使っています。



共同募金運動とは

毎年10/1～12/31まで全国一斉に行われます。誰もが住み慣れた地域社会の中で幸せにいきいきと暮らすことができるように、さまざまな民間社会福祉活動を財政面から支援する運動です。



歳末たすけあい募金とは

共同募金運動の一環として、12/1～12/31までの1ヵ月間、援助を必要としている人たちが安心して新年を迎えられるように展開されます。



災害ボランティアの支援も行う共同募金

大規模災害発生時の初動期に、高齢の方や障害のある方など社会的に支援を必要とする方のために救援活動を行うボランティアグループ・団体、または社会福祉施設などの活動にかかる経費の一部を支援しようという目的をもっています。

